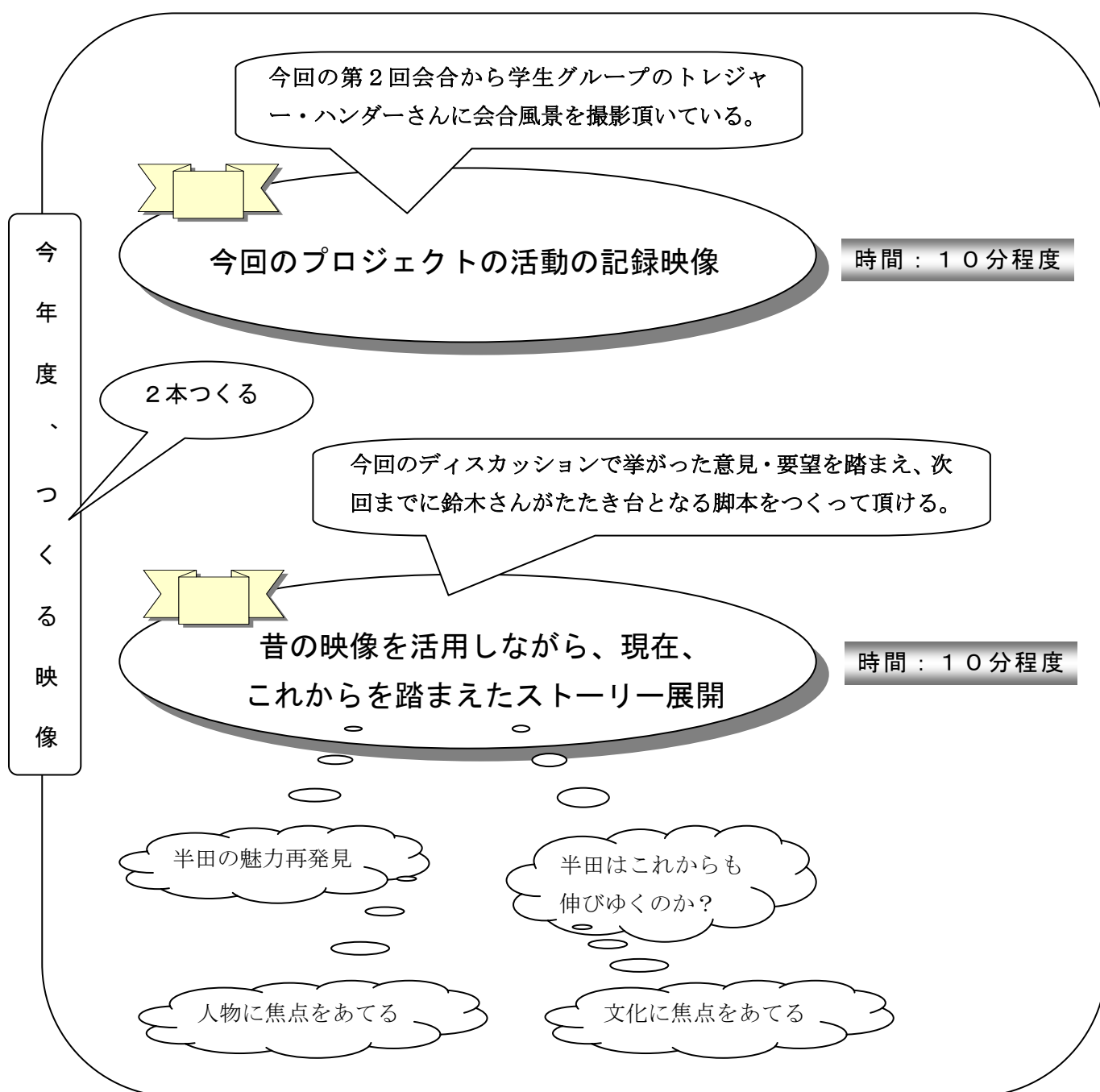


## 第 2 回（2007.7.2）会合のまとめ

今回は、前回、市民グループ、学生グループそれぞれから提案頂いた企画案と付箋紙を用いて、意見を出し合ったワークショップの傾向を踏まえ、ディスカッションを通して、つくる映像の骨子を決めました。

下記に、今年度、つくる映像をまとめています。大きく10分程度の映像を2本つくることとなりました。「今回のプロジェクトの記録映像」「昔の映像を活用しながら、現在、これからの踏まえたストーリー展開」の2本です。

2枚目には、ディスカッションで挙げた主な意見を載せています。



グループディスカッションで挙げた意見

昔の映像と現在の映像の組み合わせがいろいろ。時間は30分ほどと思う。対象は小学生以上を考えている。

昔の映像と現在の映像を組み合わせ、○○編、○○編、○○編をつくり、ナビゲーターがうまくつなぎ、全体で20分～30分くらいかな。

現在の映像を撮るだけでいいのではないかな。古い映像との新旧の比較は、見る人が考えればいいのか。

○○編など分かれているのはおもしろい。時間は30分くらいかなと思う。30分より長くなると逆に制作が難しくなるのではないかな。



時間は、20分が限界かなと思う。

一つ、新しいものを単独でつくってみたい。昔の映像と比較するのは、映像が複雑になるのではないかな。

「町並み」「文化」「産業」の3本柱を考えている。1本あたり昔の映像3分、現在の映像5分で計8分を考えている。対象は、小学校4年生から中学校3年生くらいまでを考えている。

古い映像と比較するかしないかは手法の一つであって、比較した方が自然かなという感じがする。

昔の映像との比較する際に、現在の映像を中心に、昔の映像をスポット的に流してはどうか。

昔の映像を織り交ぜて3分～5分のミニ映像を複数つくって、全体で20分くらいになるといいと思う。

伸びゆくのか半田？など問いかけるような映像はどうだろうか。

2分～3分くらいの映像をついたらどうだろうか。街頭でちょっと立ち止まって見てもらうようなものはどうだろうか。

今回のプロジェクトの記録映像を10分程度、古い映像を織り交ぜながら半田をストーリー的に紹介したものを10分程度、2本つくったらどうだろうか。

見終わった後に、半田の未来のことを考えてもらえるような映像にしたい。

5分くらいの短編で、1本にするなら20分くらいと思う。古い画像も織り交ぜて、小学校高学年くらいに見てもらいたい。

映像を通して、半田の魅力の再発見を多くの人に伝えたい。